

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおぞら		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画など、プログラムに沿ってこどもの支援が行われている。	・サービス担当者会議等では幅広いスタッフに参加してもらい、意見を募ることで、スタッフ全員が同じ方針でこどもの支援に当たることができている。	・日々のミーティングで常にこども達の情報をスタッフ同士で共有する。また、スタッフがいつでも個別支援計画を見て立ち返ることができるようにする。
2	・こどもが楽しく通えている。	・利用したばかりの頃は「行かなければならない場所」という認識で、こどもから「帰りたい」と言われることもあったが、少しずつ事業所が楽しい場所だと認識してもらえよう、徐々に信頼関係を築いていった。	・引き続きこども達が楽しく通えるよう、スタッフから積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係を保つ。
3	・こどもや保護者と事業所で意思の疎通ができている。	・送迎時にはこどもの様子をスタッフから逐一伝え、保護者からもお話をうかがう。それをミーティング等で共有している。	・今後もこどもに関する情報を保護者と事業所と学校で共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設に関すること（スペースの確保、特性に合わせた構造、など）	・以前の事業所は狭く、動線がスムーズではなかったため、特性に合わせた構造とは言い難かった。	・現在は新しい事業所になり、動線が工夫されている。また、段差が少なくバリアフリーになっている。広さは以前の事業所とあまり変わらないが、机の配置などを工夫し、なるべく遊ぶスペースが広く取れるようにしている。
2	・保育所等、地域のこどもと交流する機会がない。	・現在、地域のこどもと交流する機会は設けていない。	・保護者からの希望があれば、その都度検討する。
3	・避難訓練、面談、保護者会などが実施されているか知らない。	・いずれも実施しているが、避難訓練（火災、地震）は年2回、面談は半年に一度＋保護者が希望すれば随時、保護者会は不定期に開催されており、参加できる機会が少ないので知らない人も多い。	・避難訓練は、利用人数に空きがあれば幅広く声を掛ける。面談は、こちらから保護者に連絡を取り、希望者と面談をするようにする。保護者会も不定期ではあるが、今後も開催するようにする。